東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2020年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年2月10日(水)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年2月10日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【6号機残留熱除去海水系圧力調整電動弁(B系)の開閉試験時における作業手順書に記載のない操作の実施について】 当社社員が、点検後の6号機残留熱除去海水系圧力調整電動弁(B系)の開閉試験において、中央制御室の開度指示値と現場の開度指示値に差異が見られたことから、現場にて開度指示計の調整をしていたところ、中央制御室の状態表示ランプが本来、全閉表示であるところ中間開度状態を示していることを確認。 確認したところ、協力企業作業員が作業手順書に記載のない手動ハンドル操作をしたことと判明。 また、開度指示計の調整作業中に誤って工具を充電部に接触させたことにより、地絡を表す警報も発生させたことを確認。 今後、詳細調査後、再発防止対策を検討予定。 現在、当該弁は全閉状態であり、設備への影響はない。</p>	GⅢ	2月8日